

受入れマニュアル作成に必要な情報の収集

公益財団法人日本野鳥の会

新越冬地を形成するにあたり必要な情報の一つである農業被害対策について、手法が確立されている出水地域の設置方法について情報収集した。

<赤銀テープと防鳥糸を用いた防除法>

効果と設置の容易さから、現在はこの方法を推奨している。設置を希望する農家に対し、圃場面積に応じた資材と設置例の資料を配布している。

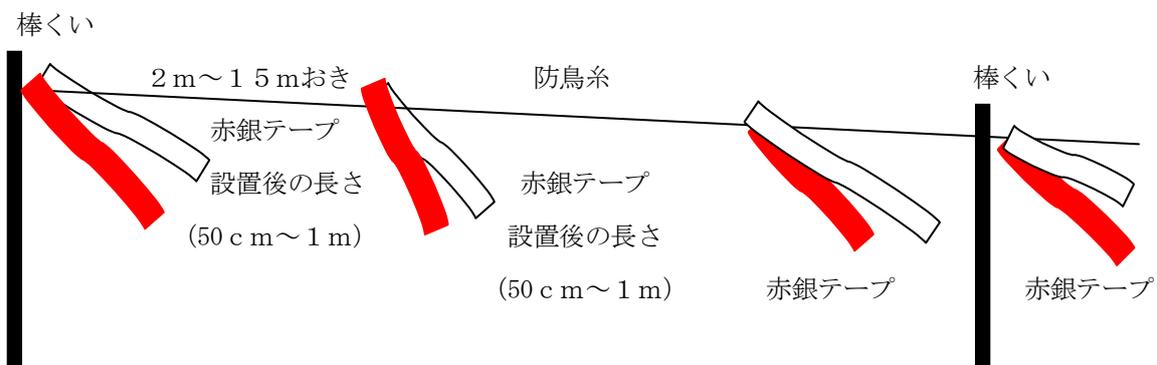


資材：防鳥糸、赤銀テープ、棒ぐい
(写真提供／クレインパーク)

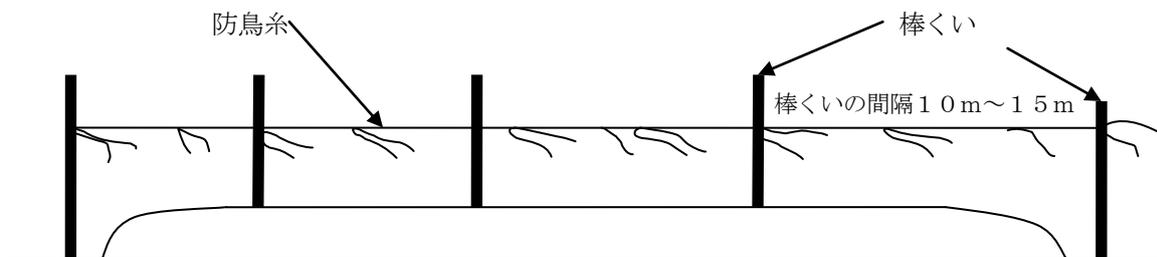
農家への配布資料（鹿児島県ツル保護会作成）

配付資材の効果的な設置例

- 棒くいは、10m～15mおきに設置する。
- 防鳥糸の2m～15mおきに、赤銀テープを1m～2mほどの長さに切って、防鳥糸にホッチキスで止めるか、くくりつける。
(赤銀テープは、ツルを寄せ付けない効果が大きく、ツルがけがをすることも防いでくれます。)



横から見た図



※ 上記の資材の設置は、一例ですが、配付いたしました資材を有効にお使いいただき、裏作のツル被害防止にお役立てください。